

札幌協創立100周年記念事業

少年少女の成長願って

野球連盟にラインパウダー等寄贈



廃棄物処理業者の北清企業(株)と共同で、同社の特許技術を活用し、同廃材をリサイクルパウダーとして再生する取組を行っている。

記念事業では

一般社団法人札幌建設協会(岩田圭剛会長)は、創立百周年記念事業の一環として札幌市少年軟式野球連盟にラインパウダー等を寄贈した。岩田会長が三日に行われた同連盟主催の少年野球総合開会式に出席し、小室雅義会長に目録を手渡した(写真)。

札幌建設協では環境への負荷軽減を目的に、二十五年度から建築現場で発生する石膏ボード廃材のリサイクル事業を進めている。産業

北海道リサイクル商品として認定を受けているその製品を、札幌市内の少年・少女スポーツ団体に寄贈し、活動を支援することにした。当日は岩田会長が「コミュニケーション施設の一つ」として行われた連盟主催の少年野球総合開会式に出席。百

四十五チーム、三千五百人が参加する中、開会式のセレモニーの中でラインパウダー百袋、ラインメーカー三台を記した目録を小室会長に手渡した。また、リサイクル事業の共同事業者である北清企業(株)の大嶋武社長も同行。大

島社長から、選手二人に二枚詰めラインパウダーが贈られた。札幌建設協では本年度から向こう五年にわたって、リサイクルしたラインパウダーの寄贈を予定している。

少年野球の振興に一役

札幌建設協 ラインパウダー寄贈
100周年記念



目録を手渡す岩田会長(左)

札幌建設業協会(岩田圭剛会長)は3日、創立100周年記念事業の一環として、建築現場で使用する石こうボード端材を再生したラインパウダーを、札幌市少年軟式野

球連盟に寄贈した。地域の子どもたちのスポーツ振興に一役買った。石こうボードは建築現場で大量に使用されているが、端材は再生利用が進まず、大半は管理型

処分場へ持ち込んでいる。そこで2013年度から、産業廃棄物処理業者の北清企業(本社・札幌市東区)と連携し有効利用を検討。同社の特許技術を使って環境にやさしいラインパウダーに再生し、活用を図ることにした。

この日、札幌市内のつどいむで開かれた同連盟主催の総合開会式の中で、約150チームの入場行進終了後に贈呈式を実施。岩田会長と大嶋武北清企業社長が、連盟の小室雅義会長にラインパウダー100袋とラインメーカー3台の目録を手渡し、建設業界として子どもたちの健全な育成を支援することを約束。ラインパウダーは20年まで寄贈を続ける。